

青梅市 新町地区 住民参加型の土砂災害・水防訓練

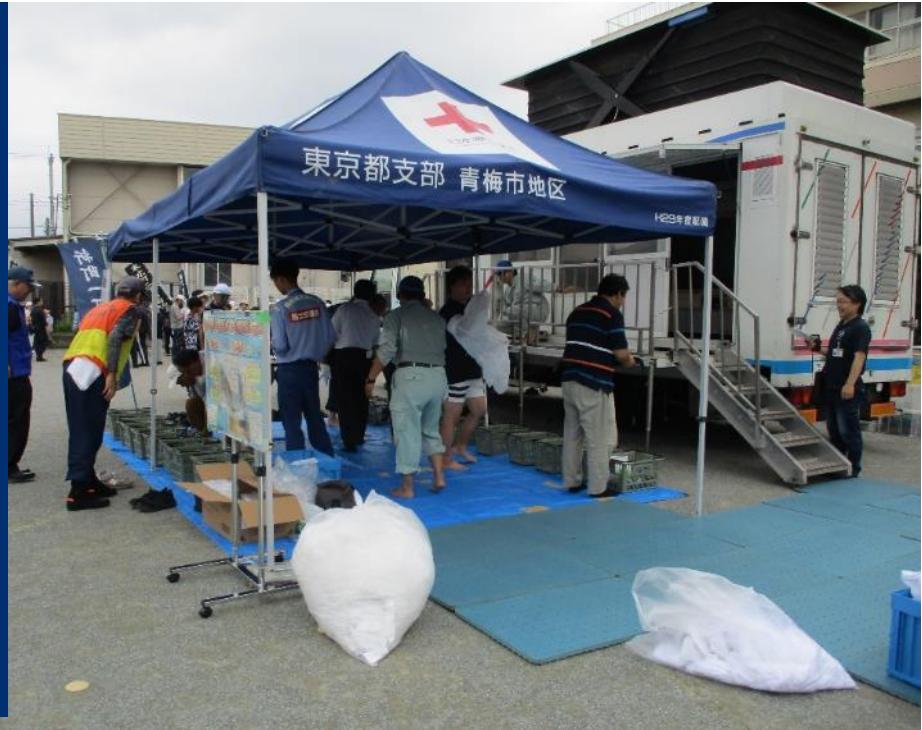
青梅市

- ・台風を想定した土砂災害・水災に関する訓練
- ・“体験”を重視し、住民の方に経験を積み上げてもらった。

自然災害体験車



降雨体験車



水圧ドア体験



土砂災害広報展示



令和6年度羽村市・福生消防署合同水防演習

本演習は水災期に備え、実践的な訓練を通じて、水防部隊運用要領及び各種水防工法等を習得し、水防態勢の万全を期することを目的に実施した。
水防技術の向上の他にも、羽村市建設防災協力会など関係機関との連携確認等、総合対応力の向上に努めた。

参加団体：羽村市、福生消防署、羽村市消防団、羽村市町内会連合会、福生消防少年団など 参加人員326人
実施日：令和6年6月2日(日)9:00～11:00 実施場所：羽村市宮の下運動公園



演習開始報告の様子



各工法部隊出動の様子



シート張り工法の様子



都市型水防工法の点検確認の様子

防災意識の向上を図るため、防災講話を実施

取組内容

- 令和6年度はこれまでのところ、小学校、中学校PTA、高校への防災講話を計5回実施した。
- 応急給水栓、マンホールトイレ、防災行政無線、避難テント・ベッドの展示等を行い、各小中学校にある防災用備蓄品の役割を紹介した。



瑞穂町で起こりうる災害についての説明



マンホールトイレの説明



高校生による避難テントの組み立て体験



応急給水栓の説明

避難所開設及び応急給水訓練の実施

取組内容

○いつ起こるか分からない災害に備え、地震や風水害等の災害が発生した時に、避難所の開設をするにあたっての基礎知識を習得する訓練を、全職員を対象に実施した。

○東京都水道局及び東京水道株式会社の職員の方々の指導協力による応急給水訓練、まちづくり課職員の指導により、マンホールトイレの組立設置訓練も併せて実施した。



避難所開設訓練状況↑



←避難所開設訓練状況

マンホールトイレ
組立設置訓練状況↓



応急給水訓練状況→



個別避難計画の策定推進

避難行動要支援者の個別避難計画の策定推進

- 令和4年度より避難行動要支援者の個別避難計画を策定している。
- 村の福祉部局である「福祉けんこう課」と連携し、個別避難計画を策定を推進している。
- 計画の策定にあたっては、ケアマネージャー等の専門的な知見を得ながら、対象者の状況や村の災害特性を踏まえた計画の策定を効率的に行っている。
- 個別避難計画の策定件数は令和5年度に15件、令和6年度は50件を見込んでいます。令和7年度以降も引き続き計画策定の予算を計上していく予定。

避難行動要支援者のための個別避難計画

年 月 日作成

基本情報	ふりがな氏名				性別	男・女
	住所	〒190-02 檜原村				
	生年月日	年	月	日	年齢	歳
	電話番号					
	E-mail					
要支援情報 (あてはまるものすべてに印)	<input type="checkbox"/> 介護保険の認定を受けている 【要介護区分: 】					
	<input type="checkbox"/> 手帳を所持している 【種類: 等級: 】					
	<input type="checkbox"/> 難病の特定医療費や小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている					
	<input type="checkbox"/> 75歳以上の方のみの世帯である					
	<input type="checkbox"/> 立つことや歩くことができない <input type="checkbox"/> 音が聞こえない(聞こえにくい)					
	<input type="checkbox"/> 物が見えない(見えにくい) <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解がむずかしい					
	<input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない					
家族構成(状況)	昼間					
	夜間					
緊急連絡先	氏名	続柄	住所	連絡先		
避難場所	指定緊急避難場所(屋外)					
	指定避難所(屋内)					
	二次避難所等(福祉避難所等)					
携行医薬品						
避難誘導時や避難先その他留意事項						

避難行動要支援者のための個別避難計画

記入例

令和△年 △月 △日作成

基本情報	ふりがな氏名	ひのほら たろう 檜原 太郎			性別	男・女
	住所	〒190-0211 檜原村 2717				
	生年月日	昭和□□年	□月	□日	年齢	△△歳
	電話番号	598-3121 (携帯) 090-□□△△-△□△□				
	E-mail	◇◇@◇.jp				
要支援情報 (あてはまるものすべてに印)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護保険の認定を受けている 【要介護区分: 要介護2】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 手帳を所持している 【種類: 身体障害者手帳 等級: 1級】					
	<input type="checkbox"/> 難病の特定医療費や小児慢性特定疾病医療費の支給認定を受けている					
	<input type="checkbox"/> 75歳以上の方のみの世帯である					
	<input checked="" type="checkbox"/> 立つことや歩くことができない <input type="checkbox"/> 音が聞こえない(聞こえにくい)					
	<input type="checkbox"/> 物が見えない(見えにくい) <input checked="" type="checkbox"/> 言葉や文字の理解がむずかしい					
	<input type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> 顔を見ても知人や家族とわからない					
家族構成(状況)	昼間	日中は基本的に独居で、1階で過ごしている。				
	夜間	夜間は基本的に息子と2人であるが、息子は夜勤でいないときもある。また、寝室は2階にある。				
緊急連絡先	氏名	続柄	住所	連絡先		
	〇〇〇〇	長女	あきる野市△△-□□	080-□△-□△		
避難場所	指定緊急避難場所(屋外)					
	指定避難所(屋内)					
	二次避難所等(福祉避難所等)					
携行医薬品	血圧を下げる薬: アムロジピン、血液サラサラの薬: バイアスピリン					
避難誘導時や避難先その他留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が困難なため、避難時は車椅子等が必要。 ・1日に複数回薬を服用するため、避難時に携行しているか確認が必要。 ・大人数のところにいるとパニックを起こすことがあるため、避難先では配慮が必要。 					

少なくとも1名、**同居以外の方**を記入してください。

檜原村で記入するので、**空欄のまま**にしておいてください。

都水道局事業において町から説明を実施

奥多摩町

10月12日(土)、奥多摩文化会館において、東京都水道局による「水道サポーター交流会」が開催された。交流会のテーマは水道における災害対策だが、水道局と協議の上、参加対象を自治会役員とし、当日町職員から「奥多摩町の風水害対策について」と題した説明を行った。参加者：自治会役員28名

説明内容は、令和元年19号台風の際の住民避難の状況、風水害時の地域の課題、公助の限界、共助の重要性などについて。なお、当日、水道局からは、水道管の耐震化など具体的な災害対策の説明や、断水時の応急給水について実際の器具を用いての説明があった。



当日の様子(文化会館)



当日の様子(屋外での応急給水説明)